

Friendly Awara

張紹興市長来市 ～歌声で歓迎



〈平成17年11月26日：藤野巖九郎記念館の前で、友好の固い握手を交わす松木幹夫市長と張金如紹興市長〉

昨年11月23日、紹興市友好訪問団一行が、西宮市との友好20周年を記念して来日した際に、藤野巖九郎先生のふるさとあわら市を訪れました。

張金如紹興市長には、昨年10月13日～17日の第2次あわら市友好訪中団一行が大変お世話になり、松木市長をはじめとする関係者も、今回の訪問に心から歓迎の意を表しました。

紹興市長があわら市を訪れるのは、昭和58年に旧芦原町と紹興市が友好市町を締結して以来5回目（5人目）であり、平成12年以來5年ぶりとなりました。



国際交流センターで市長らを表敬訪問した張紹興市長一行は、藤野巖九郎記念館を熱心に見学されました。



〈記念館に到着する訪問団一行〉

歓迎会には、市民（会員）85人が参加し、また、本荘公民館童謡講座生の皆さんによる歓迎の歌で、一行17人を熱烈歓迎いたしました。

特に、最後の「北国の春」では、会場全員が立ち上がり、大合唱の歌声が響き渡りました。



〈北国の春を合唱しました〉

紹興市民と各種競技で友好交流～ 第2次あわら市友好訪中団を派遣

平成17年10月13日から17日までの5日間「第2次あわら市友好訪中団（団長 松木幹夫市長）」を紹興市へ派遣しました。今回は、紹興市から第2回魯迅文化芸術祭に招待されたことを受け、主に、ゲートボール3チーム（15人）、囲碁6人、卓球2人の各団体を派遣し、各競技を通して、民間レベルで紹興市民との友好交流を図るものになりました。

今回は、松木幹夫市長をはじめ市議会代表、市職員、各競技団体の総勢37人が紹興市を訪問しました。

初日の13日（木）は、午前10時40分から市役所金津庁舎前で出発式が行なわれ、終了後、小松空港から上海へ向かいました。

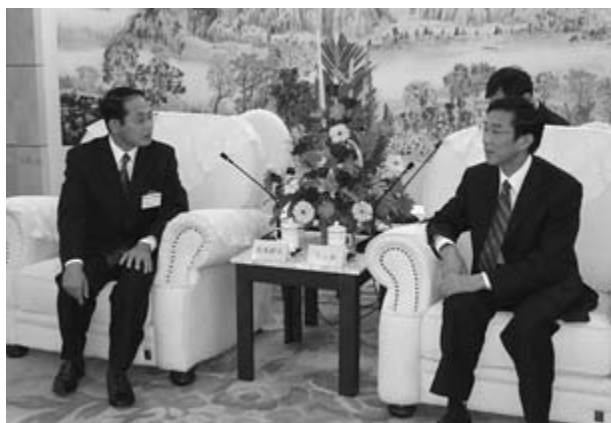
2日目は、午前中、上海魯迅記念館に張嵐副館長を表敬訪問し、午後は、福井県と友好関係にある浙江省の人民対外友好協会を表敬訪問しました。

3日目は、午前中に南宋官窯博物館見学や西湖遊覧などの杭州市内観光を行ない、午後には紹興市へと向かい、ホテルでは、兪永谷副市長らの熱烈な歓迎を受けました。

その後、張金如紹興市長を表敬訪問し、あわら市と紹興市のさらなる友好関係を誓い合い、会談後は、張市長主催の歓迎夕食会に招かれ、団員一同、大感激していました。



〈訪中団員：上海魯迅公園〉



〈張紹興市長を表敬訪問〉



〈翌日の紹興日報に掲載〉



〈南宋官窯博物館〉



〈上海のシルク工場見学〉

第2次あわら市友好訪中団員名簿<敬称略>

ゲートボール代表

三上 要 (河間)	高戸 薫 (河間)
土橋 榮一 (田中々)	古南 正 (桑原)
坂之上 實 (熊坂)	伊佐田 高雄 (前谷)
伊佐田 トヨコ (前谷)	深町 幸子 (次郎丸)
多賀 美どり (熊坂)	小泉 英二 (中央)
小泉 なつ江 (中央)	山田 健治 (六日)
児玉 富久子 (清滝)	竹内 肇 (古)

囲碁代表

明父 素造 (旭)
高木 春海 (榛ノ木原)
円道 紀夫 (旭)
山本 博典 (二面温泉)
岡崎新右門 (東山)
西川 全勝 (旭)

卓球代表

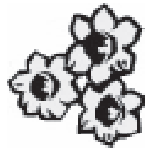
藤川 浩 (水口)
山田 啓司 (後山)

市職員

神尾 秋雄	土木部長
平田 幸一	総務課長
高橋 瑞峰	生活環境課参事
道地 菊代	健康長寿課補佐
正藤 喜恵	保健師

役員

団長	松木 幹夫	市長
副団長	山川 豊	市議会議長
副団長	齊藤 貞夫	市日中友好協会副会長兼事務局長
参与	宮崎 修	市議会議員
参与	篠崎 巖	市議会議員
参与	山口 峰雄	市議会議員
参与	山川 知一郎	市議会議員
参与	吉江 眞雄	JA花咲ふくい常務理事
秘書長	辻 博信	市秘書広報課長
秘書	山口 徹	市秘書広報課課長補佐



4日目は、今回の目的である各競技の交流会が開催されました。

ゲートボールは府山公園、囲碁は紹興市国際大酒店3F特設会場、卓球は同地下の特設会場でそれぞれ開催されました。役員の熱い応援と激励を受け、各競技において相互の友好交流を深めることができました。

その後、魯迅故里、紹興市魯迅記念館を見学し、翌日、上海浦東空港から中部国際空港へと向かい、帰りの途に着きました。

今回参加された皆さんは、藤野先生と魯迅の師弟愛に機縁するあわら市と紹興市の友好の深さに感銘したようで、第2次あわら市友好団の目的を達成することができました。

<熱中する
囲碁会場>



熱戦が繰り広げられた卓球会場



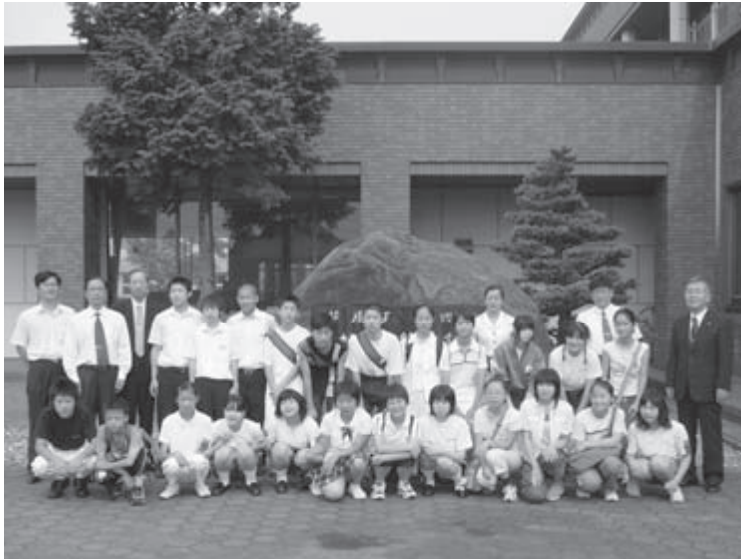
<ゲートボールの皆さん>





100年前の師弟愛が今も子どもたちへと・・・

紹興市文理学院附属中学校代表団来市



〈市役所芦原庁舎前の友好碑前で全員記念撮影〉

昨年の7月7日～9日の間、紹興市文理学院附属中学校友好訪問団（団長周亮副校長）一行16人があわら市を訪れました。

芦原中学校は、昭和61年以来、友好親善少年使節団を毎年派遣し、これまでに、20回の親善少年使節団を数えています。一方、紹興市中学校の訪問は、平成3年に芦原中学校と紹興師範専科学校附属中学校が「友好交流推進に関する合意書」に調印して以来、3回目の訪問になりました。

一行は、7日に上海浦東空港から小松空港へ到着し、金津創作の森や藤野巖九郎記念館を見学し、夜には、松木市長や市村教育委員長らによる歓迎会が開催されました。

8日午前中は、東尋坊や北潟湖畔公園を見学した後、芦原中学校を訪問しました。



〈藤野巖九郎記念館を視察〉



〈各自ホームステイへ
出発：芦原中学校〉

芦原中学校では、校舎前でたくさんの生徒や先生から熱烈な歓迎を受けました。

歓迎式典では、児嶋教育長や武川芦原中学校長の歓迎あいさつの後、団員の紹介が行われ、最後にホームステイ先の生徒との対面を行ないました。その後、全校生徒が待ち受ける体育館に移り、お互いの学校紹介や質問、吹奏楽部の演奏などが行われ、友好交流を図っていました。

夜は、ホームステイ受入れの各家庭へ向かい、日本で初めてのホームステイを楽しみ、翌日、ステイ先の家族に付き添われ、市役所芦原庁舎に集合。8時40分に次の目的地である大阪へと向かい、その後、名古屋・横浜・東京を経由して、13日に成田空港から上海浦東空港、そして紹興市へと帰っていきました。

藤野巖九郎記念館所蔵資料を次世代へ



デジタルアーカイブ 作成委託業務終了

藤野巖九郎記念館の所蔵資料は、歴史的価値が極めて高く、友好活用策が求められていますが、室内の湿気などから劣化が進み、適正な保存方法の検討が課題とされてきました。

そこで、所蔵資料のデジタル化（台帳整備・資料目録作成含む。）を行うことにより、資料の映像化やWebでの公開時などの基礎データとしての活用を図るため、平成17年度に、デジタルアーカイブ作成業務が行なわれました。

また、デジタル化により資料の複製品の作成が可能になることから、劣化が進んでいる展示物については複製品で対応し、貴重な資料保存については、県文書館へ寄託されることになりました。

※デジタルアーカイブ事業

貴重な文化資産を、記録精度が高く、映像再現性に優れたデジタル映像で保存し・蓄積し、次世代へと継承していくもの。

～資料紹介：許広平女史の書簡～

日本を離れた後、魯迅はいつも藤野巖九郎先生のことを心にかけていたが、生前再会は叶わなかった。

魯迅夫人である許広平女史はこの魯迅の遺志を受け、1956年、最初の訪日のとき、ぜひ藤野巖九郎先生の墓参りをしたいと考えられていたが、過労のため同女史は来福出来ず、魯迅の親しい友人であった内山書店主内山完造に代参を依頼した。

この手紙は内山完造に対し、不参の理由を述べ、代参を依頼された女史の書状である。藤野巖九郎遺品の中から発見されたが、恐らく内山完造が持参し、代参の理由を説明するため文未亡人に示されたものであろう。なお、文中にある香花料は、文未亡人が固く辞退され鄭重に返却された。



〈劣化が進んだ藤野巖九郎記念館所蔵資料〉



〈1点1点資料確認しながらの準備作業〉



〈デジタル化により、パソコン上で貴重な多くの資料やその説明が一目で見ることができるようになりました。H18年中には、市のホームページにも掲載される予定です。〉

深まる交流 友好の架け橋～ 北京魯迅博物館長・館長補佐来市



〈東北大での
シポジウム〉

2月20日、孫毅北京魯迅博物館館長（北京）と黄乔生同館長補佐ら一行4名が、あわら市を訪問しました。これは、昨年12月に、魯迅の「解剖学ノート」（中国では国家一級文物〔国宝〕の指定）の電子版が、北京魯迅博物館から東北大学に寄贈されたことを記念して、東北大学が孫館長らを招待し、その際に、藤野先生のふるさと「あわら市」を訪れたものです。

一行は、国際交流センター特別室で懇談し、松木市長が「紹興市と友好締結して20年以上が経過した。今後も文化・芸術などの交流を盛んにしたい」とあいさつしました。

一方、孫館長は「北京魯迅博物館を今後改修する際、藤野先生に関する資料を充実させたい。希望があれば魯迅文化交流センターを通じて、資料を貸し出したい」と、交流への意欲をみせていました。この後一行は、泉彪之助氏（福井県立大学名誉教授・元藤野巖九郎記念館資料調査員）から、同センター内の展示資料の説明がありました。



〈松木市長、齊藤会長らと懇談する孫館長〉



〈資料の説明を行う泉彪之助氏〉

〈その他 平成17年度には、次のような交流を行いました〉

- 5. 24 浙江省桐郷市人民政府代表团一行7名来市
- 7. 7 紹興市文理学院附属中学校友好訪問団（団長 周亮副校長）一行16名来市
- 7. 11 中国広東省汕頭市金平区人民政府李彦鋒区長、同市大学路昇平開発区の汕頭新道編織有限公司副総経理等3名来市
- 7. 24 浙江省政府代表团（団長 金徳水副省長）一行11名来市
- 9. 11 浙江省福井県経済交流促進機構浙江省委員会（団長 副秘書長楼小東）一行14名来市
- 10. 24 中国教職員招聘プログラム福井県プログラム実施団員31名来市
- 11. 16 中国日本友好協会許金平秘書長一行7名来市
- 11. 24 JICA中国青年招聘事業（日本語教師）一行12名来市
- 12. 4 第20次あわら市日本中国友好親善少年使節団（団長 市村敬二教育委員長）一行19名出発（～9日）
- 1. 24 東北大魯迅研究プロジェクト第一グループ来市（～26日）
- 2. 28 中国（北京）メディア招聘事業・メディア関係者一行8名来市
- 3. 15 中国ファミトリップ・広東省旅行会社一行13名来市